

第 **135** 期第2四半期
株主のみなさまへ

平成29年 4 月 1 日から
平成29年 9 月30日まで



ISO9001 認証
JQA-1050



ISO14001 認証
JQA-EM0365

大阪府東大阪市四条町12番8号

株式会社 ロブテックス



● 日常の生活に根ざした工具の文化を育てたい

欧米ではクリスマスや誕生日に、
父親や彼氏に工具セットを贈る習慣があります。
モノづくり大国“日本”にも
そういった文化を根づかせたい。

工作教室

(東大阪ふれあい祭り、
東機工組合祭り 他)



地元中学校の見学会

(東大阪市立縄手中学校)



展示会出展

(DIY HOMECENTER SHOW、
CKB20周年記念ライブ 他)



R&Dセンター (ショールーム) の改修 (社員のDIYにて作業)



ご紹介します。

●より良い商品をお届けしたい

135期上期
新商品
キャンペーン

カップダイヤ「研削王」

CSA4・CDA4

大好評!『切断王』

ダイヤモンドホイールの
シリーズ品として、カップダイヤ

『研削王』

が新登場!!

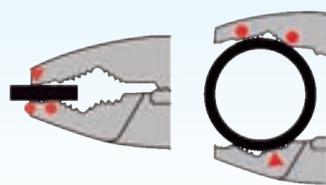


ハイブリッドアンギラス
(小ネジ外し機能付)

定番のアンギラスがさらに進化!

使い勝手を追求し

高機能化を実現!



●ブランドの認知度を上げる

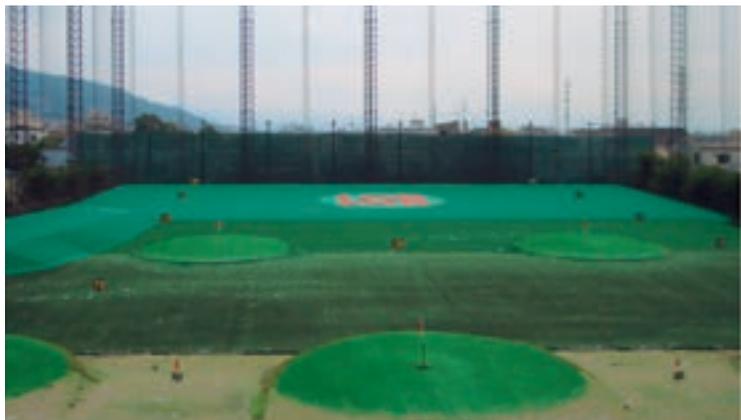
NHK「超絶 凄ワザ!」

視聴者から番組に依頼があった、
とても硬い『オニクルミ (和クルミ)』の
殻を割る工具の作成に成功
いたしました。



ゴルフ練習場（株式会社ロブエース） 大幅リニューアル

打席・カードシステム、その他付帯設備をリニューアル



ビジター メンバー VIP
フレンド ジュニア レディース グランドシニア

7種類の
ICカード導入



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、日頃から温かいご支援をたまわり厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第135期第2四半期決算の報告をお届けいたしますので、ご高覧たまわりますようお願い申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用環境は改善傾向で推移し、緩やかな回復基調を維持しておりますものの、労働力不足や北朝鮮情勢・米国の政策動向をはじめとする海外の政治経済の不確実性もあり、景気の先行きについては不透明感を払拭できない状況にあります。

このような状況の下、当社グループは経営スローガンである「昨日と違う今日を創るため 常識の壁を破り 感性で行動します」を徹底させ、時代や環境の変化に応じた大胆な発想力と行動力を追求し、具体的な目標を定め確実に行動し、成果を獲得する、真の実力を持った企業グループとなるべく継続して努力を行ってまいりました。また、2017年5月に電子取引市場への対応やインターネットを活用した情報提供及び商品PRの強化などの売上拡大を目指した施策を行う「営業推進部」を新設し、「営業部」及び昨年度に設置した「営業企画部」との連携を図り、組織的な営業活動の更なる強化を進めております。加えて、ロブスターブランドの根幹である品質の維持・向上を強力に推し進めるべく、品質保証部門を独立させ、商品戦略に基づいた商品企画をより早く商品化するため、商品企画部門と商品設計部門の統合を行いました。

その結果、売上高は前年同期比9.3%増の30億3千8百万円（前年同期27億8千万円）となり、利益面では増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、営業利益で同28.5%増の2億8千6百万円（同2億2千3百万円）、経常利益で同34.3%増の2億5千9百万円（同1億9千2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益で同35.4%増の1億6千5百万円（同1億2千2百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

<金属製品事業>

国内売上は前年同期に比べ増加し、ハンドツール部門では、過多であった流通在庫の正常化に向けて拡販努力を行ったモンキレンチやプライヤ類が好調な推移を見せ、また、新企画商品の継続的な販売もあって増加しました。ファスニング部門では、エア

ーリベッター、エアーナッター、工業用ファスナーなどが堅調な販売であったことに加え、超小型オートリベットフィーダーや住宅関連向けのファスニングツールが伸長し増加しました。切削工具部門については拡販努力をしておりますものの、価格競争の厳しさは継続しており、減少しました。

海外売上についても前年同期に比べ増加しており、ハンドツール部門では韓国向けに拡販施策の奏功したモンキレンチや拡販努力と同国の一部業界の景況回復とが相まった電設工具の好調な販売により増加しました。ファスニング部門では米州向けのエアリベッター等のファスニングツール類が全般的に好調に推移しておりますものの、その他の地域では流通在庫の過多状況継続により減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比9.6%増の29億2千2百万円（前年同期26億6千7百万円）となりました。利益面では営業利益が増収影響に加え、在庫評価の良化傾向もあって、前年同期比32.6%増の2億3千万円（同1億7千3百万円）となりました。

<レジャー事業>

ゴルフ練習場における入場者数はリニューアル工事による部分的な施設閉鎖期間がありましたものの、集客施策の効果などにより増加し、お客様一人当たり売上高については低下傾向が継続しておりましたが、前年度後半からは下げ止まり感を見せており、売上高は前年同期比2.6%増の1億1千5百万円（前年同期1億1千2百万円）となり、営業利益は、同14.2%増の5千6百万円（同4千9百万円）となりました。

株主のみなさまには、変わらぬご支援、ご指導をたまわりますようお願い申し上げます。

平成29年12月

取締役社長

地引俊爲



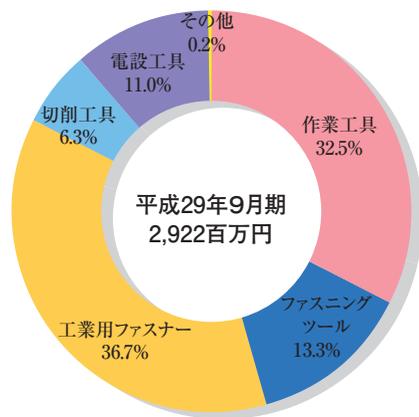
連結業績の推移

● 営業成績

区 分	第131期 (平成26年3月期)	第132期 (平成27年3月期)	第133期 (平成28年3月期)	第134期 (平成29年3月期)	第135期 通期予想 (第2四半期)
売上高 (百万円)	5,581 (2,665)	5,572 (2,671)	5,910 (2,828)	5,762 (2,780)	6,100 (3,038)
経常利益 (百万円)	499 (211)	511 (209)	449 (223)	456 (192)	430 (259)
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	290 (113)	306 (125)	275 (137)	351 (122)	260 (165)
1株当たり 当期純利益 (円)	308.98 (120.10)	325.92 (133.62)	293.19 (146.08)	374.56 (130.56)	277.19 (177.05)

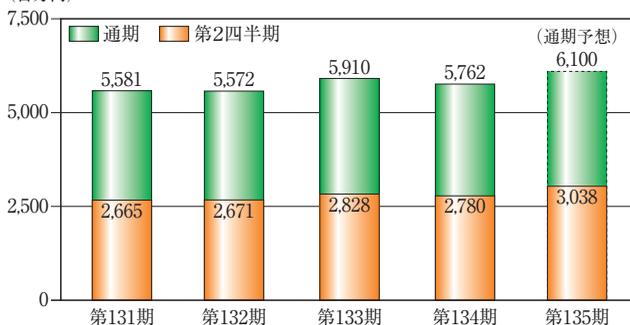
(注) () は第2四半期の数値であります。

● 金属製品事業における品種別の売上高構成比



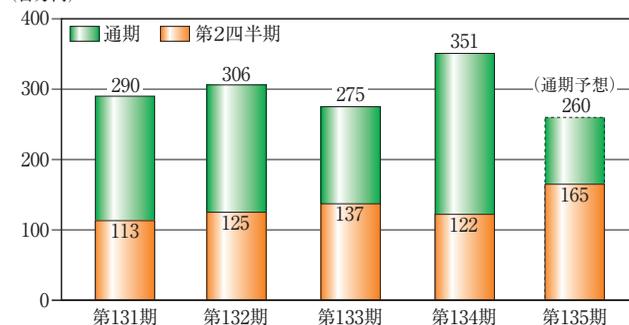
● 売上高

(百万円)



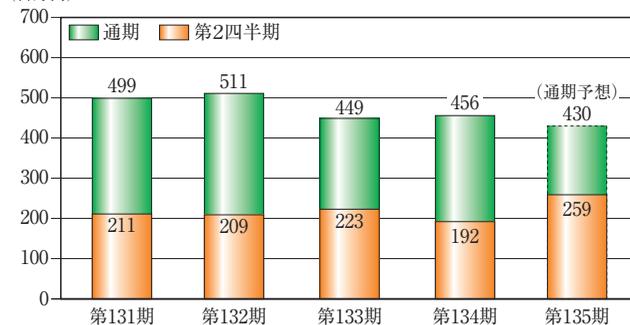
● 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



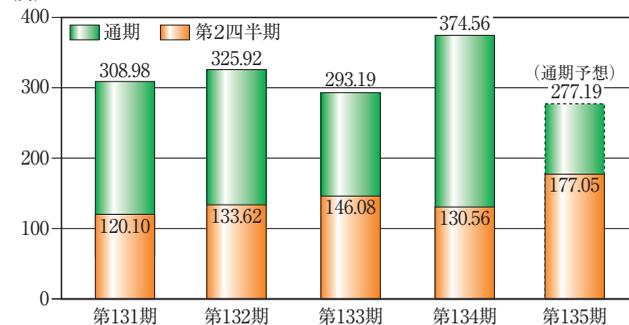
● 経常利益

(百万円)



● 1株当たり当期純利益

(円)



(注) 平成29年10月1日付で普通株式10株につき、1株の割合で株式併合を実施しております。第131期の期首に当該株式併合が実施されたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

四半期連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

平成29年9月30日現在

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	5,290,075	流動負債	2,557,148
現金及び預金	2,232,847	買掛金	233,352
受取手形及び売掛金	1,343,395	短期借入金	1,672,921
商品及び製品	1,039,117	1年内償還予定の社債	60,000
仕掛品	298,749	未払法人税等	87,291
原材料及び貯蔵品	187,827	その他	503,583
その他	193,866	固定負債	1,437,230
貸倒引当金	△ 5,729	社債	240,000
固定資産	2,578,700	長期借入金	910,702
有形固定資産	1,899,260	退職給付に係る負債	59,923
建物	705,165	その他	226,604
土地	738,508	負債合計	3,994,378
その他	455,586	(純資産の部)	
無形固定資産	34,254	株主資本	3,476,919
投資その他の資産	645,185	資本金	960,000
資産合計	7,868,775	資本剰余金	491,045
		利益剰余金	2,189,549
		自己株式	△ 163,676
		その他の包括利益累計額	226,187
		その他有価証券評価差額金	226,187
		非支配株主持分	171,289
		純資産合計	3,874,396
		負債純資産合計	7,868,775

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 四半期連結損益計算書

平成29年4月1日から
平成29年9月30日まで

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		3,038,153
売上原価		1,929,021
売上総利益		1,109,132
販売費及び一般管理費		822,373
営業利益	286,758	
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	6,605	
その他	9,722	16,327
営業外費用		
支払利息	15,757	
売上割引	23,134	
その他	5,187	44,079
経常利益	259,006	
税金等調整前四半期純利益	259,006	
法人税等	81,538	
四半期純利益	177,468	
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,626	
親会社株主に帰属する四半期純利益	165,842	

(注) 記載金額は千円未満を切捨てて表示しています。

● 会社の概要 (平成29年 9月30日現在)

設立 大正12年 8月12日
資本金 9億6千万円
発行済株式総数 10,000,000株
本店所在地 東大阪市四条町12番 8号
従業員数 110名 (連結202名)
製造販売品目 作業工具
ファスニングツール
電設工具
切削工具
工業用ファスナー

事業所

本社 / 東大阪市四条町12番 8号 (〒579 - 8053)
大阪営業所 / 東大阪市四条町12番 8号 (〒579 - 8053)
東京営業所 / 東京都板橋区高島平 2丁目 6番 4号 (〒175 - 0082)
名古屋営業所 / 名古屋市北区八竜町 1丁目 40番地 (〒462 - 0805)
福岡営業所 / 福岡市博多区山王 1丁目 7番 9号 (〒812 - 0015)

子会社

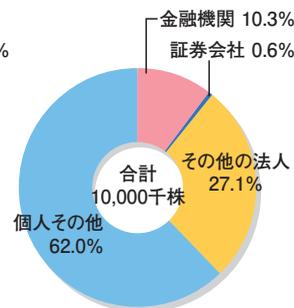
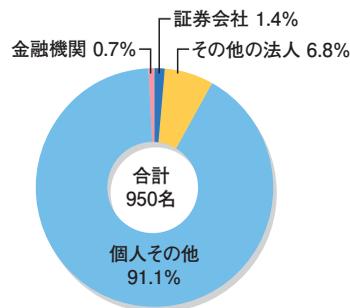
株式会社ロブテックスファスニングシステム
鳥取ロブスターツール株式会社
株式会社ロブエース

● 役員 (平成29年 9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	地引俊為
取締役	豊島尚規
取締役	山口正光
取締役 (常勤監査等委員)	林邦男
取締役 (監査等委員)	藤本昇
取締役 (監査等委員)	遠藤美智子

● 株式の状況 (平成29年 9月30日現在)

発行可能株式総数 45,000千株
発行済株式総数 10,000千株
株主総数 950名
所有者別株主構成比



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
各種お問合せ先 郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料) 〔受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕 ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL http://www.lobtex.co.jp/lobtex/ir/ (ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)